



市長新春あいさつ

あけましておめでとうございます

羽村市長 橋本 弘山

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

まず、昨年1月に発生した能登半島地震で被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

昨年を振り返りますと、国内では引き続き、物価の高騰や不安定な社会経済情勢などにより、市民生活にさまざまな影響が及びました。羽村市においても多くの困難に直面しましたが、市民の皆様の多大なるご支援とご協力を得て、一つずつ乗り越えることができております。改めて心から感謝を申し上げます。

市政に目を向けますと、現在、厳しい財政状況にありながらも、未来につながる「三つの投資」を重点施策として推進しています。

1点目の「子どもたちへの投資」では、全小学校の体育館への空調設備の設置が完了し、子どもたちが快適に学べる環境を実現しました。これは災害時の避難所としての機能強化にもつながる重要な投資であります。また、市立小・中学校の児童生徒の学校給食の三学期からの無償化や、トイレの洋式化などにも取り組んでまいりました。

2点目の「市民の安全・安心対策、地域の強靱化対策への投資」では、市内の無電柱化事業を推進し、災害に強いまちづくりを進めるとともに、「まるごと まちごと ハザードマップ」の設置や、災害用備蓄物資の充実、要支援者個別避難計画策定など、市民の皆様の安全を第一に考え、施策を推進しました。

3点目の「行政のデジタル化への投資」では、羽村市LINE

公式アカウントを導入し、ごみの分別方法や窓口混雑状況の確認、公共施設のオンライン予約などがスマートフォンから可能となりました。また市民課の窓口では、DXの推進による「書かない窓口」を進め、市民の皆様の利便性向上にも努めてまいりました。

そのほかにも、近時の市の取組みとして、誰もが気軽に運動やスポーツを体験することができ「市民スポーツまつり」を初めて開催しました。また「はむら市民と産業のまつり」では、市民・企業・商店と行政が力を合わせ、充実した「まつり」を開催することができました。それぞれの「まつり」には多くの方々にご来場いただき、会場は終始活気に満ちていました。さまざまな出展や催しを通じて市民の交流が深まり、その絆を実感しました。こうした「まつり」が、今後さらに創意工夫を凝らし、羽村市の恒例行事として定着していくことを期待するところであります。

令和7年は、こうした取組みをさらに加速させ、「まちに広がる笑顔と活気 もっと！ くらしやすいまち はむら」の実現に向けて邁進してまいります。

また、今年は戦後80年の節目の年です。世界平和を祈念するとともに、各種の平和事業を通じ、市民と共に戦争の悲惨さや、核の廃絶を訴えてまいります。

令和7年、干支は蛇、巳年です。脱皮する蛇のイメージから、巳年は「復活と再生」を意味し、「新しいことが始まる年」になると言われています。新しい未来に向け、羽村市の発展と、この一年、市民の皆様が笑顔で健康に過ごされますよう、心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

新春イベント

市内で行われる新春のイベントを紹介します。

ヒノトントンZOOのお正月

問合せ ヒノトントンZOO ☎579-4041

さなの森SANAデザイン
動物公園PRカード2025

動物公園のシンボル看板などを手掛けている、羽村市出身のイラストレーター・さなの森SANAさんデザインによる動物公園PRカード2025を配布します。

配布開始 1月2日(木)午前9時から

配布場所 ヒノトントンZOOエントランス
配布数 500枚(先着順)

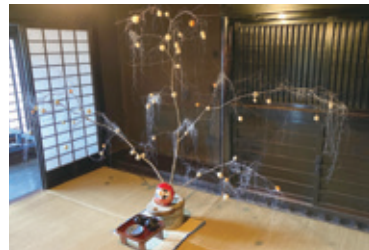


▲動物公園 PR カード「どうぶつさんぽ」
ヒノトントンZOOの動物たちが市内のいろいろなスポットを紹介します！



◀SANAさんと、SANAさんデザインのヒノトントンZOOシンボル看板

季節かざり



■まゆ玉かざり



■お正月かざり

生まれた子どもが初めて迎えるお正月(初正月)の時に贈られた羽子板や破魔弓、凧や今年の干支「巳」にちなんだ資料も展示します。

郷土博物館でお正月の雰囲気を感じてみませんか。

期間 1月4日(土)～9日(木)
会場 オリエンテーションホール

かつて養蚕が盛んだった羽村では、小正月にその年の繭の豊作を願って「まゆ玉かざり」を作っていました。

期間 1月10日(金)～19日(日)
会場 オリエンテーションホール、旧下田家住宅

※写真はいずれも昨年の様子

郷土博物館のお正月

問合せ 郷土博物館 ☎558-2561

開館時間 午前9時～午後5時(旧下田家住宅は午後4時まで)

休館日 年末年始、祝日を除く月曜日

企画展「むかしのへびこ」



便利な電化製品がまだなかった時代、ご飯を炊いたり洗濯物を洗ったりするときにはどうしていたのでしょうか。

かつて使われていた道具を通して、昔と今の暮らしの違いを見てみませんか。

期間 1月7日(火)～26日(日)
会場 学習室・旧下田家住宅